

令和6年度 小平市立第五中学校 学校評価計画表

学校教育目標		○ 考える人間 ○ たくましい人間 ○ 思いやりのある人間			
目指す学校像(ビジョン)					
【目指す学校像】		○ 生徒にとって楽しく安心して過ごせる「居場所」であり、自立に向け社会性を身に付ける「学びの場」である学校			
【目指す生徒像】		○ 規律を守りつつ自他を尊重し、社会に貢献できる生徒 ○ 自ら学び、よく考え、正しい判断ができる生徒 「チーム五中」 ○ 生徒一人一人を大切にし、生徒の良さや個性を伸長する教職員			
【目指す教員像】		○ 教師同士が互いを認め、信頼し、協力できる教職員 ○ 常に自らを振り返り、日々研鑽に努め、切磋琢磨できる教職員 ○ 地域や保護者と積極的にに関わり、信頼に応える教職員			
前年度までの学校経営上の成果と課題					
教職員組織が目指す学校像、生徒像及び教員像を共有し、学習指導や生活指導を行うことで、生徒の実態に合わせた授業改善及びトラブルやいじめの早期発見、早期対応ができた。不登校生徒について生徒一人一人の状況に合わせた支援を行ったが登校再開に至らない生徒も多かったことが課題である。					
	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	成果指標
学力向上	生徒が「できた、分かった」と実感する授業の展開	・教員の基本的な授業展開の共通理解と実践	・授業毎にねらいを明示する。 ・単元ごとの授業内容の振り返りを行う。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4 生徒アンケート調査での肯定的回答80%以上
	3 教職員の取組評価で、肯定的回答65%以上80%未満			3 生徒アンケート調査での肯定的回答65%以上80%未満	
	生徒自身による学習状況や到達度等の自己理解力育成	・ICTを活用した教育活動の工夫	・場面に応じて授業支援ソフトを活用する。 ・AIドリルを家庭学習等で活用する。	2 教職員の取組評価で、肯定的回答50%以上65%未満	2 生徒アンケート調査での肯定的回答50%以上65%未満
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答50%未満	1 生徒アンケート調査での肯定的回答50%未満
健全育成（いじめ防止）	学校生活における感動体験の推進	・特別活動における合意形成及び意思決定を意識した学級活動の展開 ・学校行事等の取組の充実	・特別活動の日に立てた目標達成に全校で取り組む。 ・学校行事では生徒が考え、工夫し、取り組めるようにする。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4 生徒アンケート調査での肯定的回答80%以上
	3 教職員の取組評価で、肯定的回答65%以上80%未満			3 生徒アンケート調査での肯定的回答65%以上80%未満	
	多様性を受け入れ、いじめの未然防止及び早期発見、早期対応の徹底	・教職員の組織的な対応力向上 ・多様な性など性についての学びを通した、違いを受け入れられる態度の育成 ・生徒理解と生徒情報の共有、学年団を主体とした生徒の見取りと生活指導	・生徒が相談しやすい関係づくりを進める。 ・全学年で発達の段階に応じた外部講師による性の授業を実施する。 ・いじめ調査を定期的に実施し実態把握と対応を行う。	2 教職員の取組評価で、肯定的回答50%以上65%未満	2 生徒アンケート調査での肯定的回答50%以上65%未満
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答50%未満	1 生徒アンケート調査での肯定的回答50%未満
特別支援教育の推進	通常級における合理的配慮の推進 支援を要する生徒についての校内委員会を通じた適切な機関への連携 特別支援学級との交流の推進	校内委員会での情報共有に加えての具体的な対応策の検討	「合理的配慮が進んだか」「支援を要する生徒に具体的な対応ができたか」について教員アンケートを行う。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4 保護者アンケート調査での肯定的回答80%以上
	特別支援学級理解教育としての、通常級と特別支援学級の交流推進	特別支援学級理解教育授業を毎年1年生で実施し、通常級教職員が固定級と交流級食を行う。	3 教職員の取組評価で、肯定的回答65%以上80%未満	3 保護者アンケート調査での肯定的回答65%以上80%未満	
			2 教職員の取組評価で、肯定的回答50%以上65%未満	2 保護者アンケート調査での肯定的回答50%以上65%未満	
			1 教職員の取組評価で、肯定的回答50%未満	1 保護者アンケート調査での肯定的回答50%未満	
業務改善・働き方改革	業務や組織体制の見直しと校務改善による校務分掌のスリム化と効率化	校務分掌ごとの年間計画の棚卸及び校務分掌組織の見直し	・校務分掌ごとに年間計画の確認を行う。 ・優先度の低い業務を洗い出す。 ・担当業務の割り振り状況確認と実態に合わせた再検討を行う。	4 両方とも実施	4 教員アンケート調査での肯定的回答80%以上
	ICTを活用した校務DXの実現	・ICTを活用した連絡事項伝達や打ち合わせ時間の削減を行う。 ・家庭連絡や欠席連絡、校内連絡のICT化を進める。	3 一つだけ実施	3 教員アンケート調査での肯定的回答65%以上80%未満	
				2 教員アンケート調査での肯定的回答50%以上65%未満	
			1 両方未実施	1 教員アンケート調査での肯定的回答50%未満	
				4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4 教員アンケート調査での肯定的回答80%以上
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答65%以上80%未満	3 教員アンケート調査での肯定的回答65%以上80%未満
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答50%以上65%未満	2 教員アンケート調査での肯定的回答50%以上65%未満
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答50%未満	1 教員アンケート調査での肯定的回答50%未満
				4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4 教員アンケート調査での肯定的回答80%以上
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答65%以上80%未満	3 教員アンケート調査での肯定的回答65%以上80%未満
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答50%以上65%未満	2 教員アンケート調査での肯定的回答50%以上65%未満
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答50%未満	1 教員アンケート調査での肯定的回答50%未満